

令和2年度学校保健統計調査結果（確報値）

和歌山県の概要

学校保健統計調査について

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく基幹統計調査として文部科学省が毎年実施しています。

調査の範囲は、国立、公立、私立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）、小学校（義務教育学校の第1学年～6学年を含む）、中学校（義務教育学校の第7学年～9学年を含む）、高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）としており、調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和2年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部としています。調査事項は発育状態（身長、体重）と健康状態（疾病・異常の有無）であり、発育状態調査については、年齢別、男女別に系統抽出法により対象児童等を抽出し、健康状態調査については、調査実施校の在学者全員を対象としています。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとなりました。このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできません。

和歌山県の調査対象数

学校種別	学 年	年 齢	幼児、児童、 生徒総数(人)	調査対象校 (園)数	調査対象者数(人)	
					発育状態	健康状態
合 計			96,310	148校(園)	13,120	52,249
幼 稚 園		5歳	3,358	28園	1,063	1,430
小 学 校	1年生	6歳	7,043	58校	909	3,311
	2年生	7歳	7,359		910	3,381
	3年生	8歳	7,566		917	3,481
	4年生	9歳	7,505		920	3,388
	5年生	10歳	7,611		922	3,455
	6年生	11歳	7,949		921	3,557
	計		45,033		5,499	20,573
中 学 校	1年生	12歳	7,994	38校	1,483	4,599
	2年生	13歳	7,943		1,470	4,521
	3年生	14歳	7,907		1,490	4,472
	計		23,844		4,443	13,592
高 等 学 校	1年生	15歳	7,870	24校	705	5,426
	2年生	16歳	8,136		705	5,579
	3年生	17歳	8,069		705	5,649
	計		24,075		2,115	16,654

※年齢は、令和2年4月1日現在の満年齢です。

※調査対象者は、幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）については5歳児のみで、高等学校については満18歳以上の生徒及び通信制課程の生徒は除きます。

発 育 状 態

1 和歌山県の児童・生徒の体格（平均値）… 表1、図1-1～ 図1-4

(1) 身長

男子の身長は、5歳、及び17歳の各年齢で全国平均を上回っています。

女子の身長は、5歳、9歳、10歳、及び16歳の各年齢で全国平均を上回っています。

(2) 体重

男子の体重は、6歳、7歳、8歳、9歳、11歳及び16歳の各年齢で全国平均を下回っています。

女子の体重は、6歳、7歳、9歳、13歳及び14歳の各年齢で全国平均を下回っています。

※なお、令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできません。

表1 発育状態調査結果

区分		身長(cm)				体重(kg)			
		平均値				平均値			
		男子		女子		男子		女子	
		和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国
幼稚園	5歳	112.2	111.6	111.3	110.6	19.8	19.4	19.6	19.0
	6歳	117.2	117.5	116.2	116.7	21.6	22.0	21.1	21.5
小学校	7歳	123.3	123.5	122.6	122.6	24.5	24.9	24.2	24.3
	8歳	128.2	129.1	128.4	128.5	28.0	28.4	27.4	27.4
	9歳	134.1	134.5	135.3	134.8	31.8	32.0	31.0	31.1
	10歳	139.7	140.1	141.9	141.5	36.2	35.9	36.4	35.4
	11歳	146.1	146.6	147.6	148.0	40.3	40.4	40.6	40.3
中学校	12歳	153.7	154.3	152.4	152.6	46.1	45.8	44.8	44.5
	13歳	160.6	161.4	155.0	155.2	51.1	50.9	47.6	47.9
	14歳	165.6	166.1	156.7	156.7	55.5	55.2	50.0	50.2
高等学校	15歳	168.6	168.8	157.1	157.3	59.1	58.9	51.3	51.2
	16歳	170.2	170.2	157.9	157.7	60.5	60.9	52.8	51.9
	17歳	171.2	170.7	157.6	157.9	63.5	62.6	52.6	52.3

図 1-1 年齢別身長の全国との比較（男子）

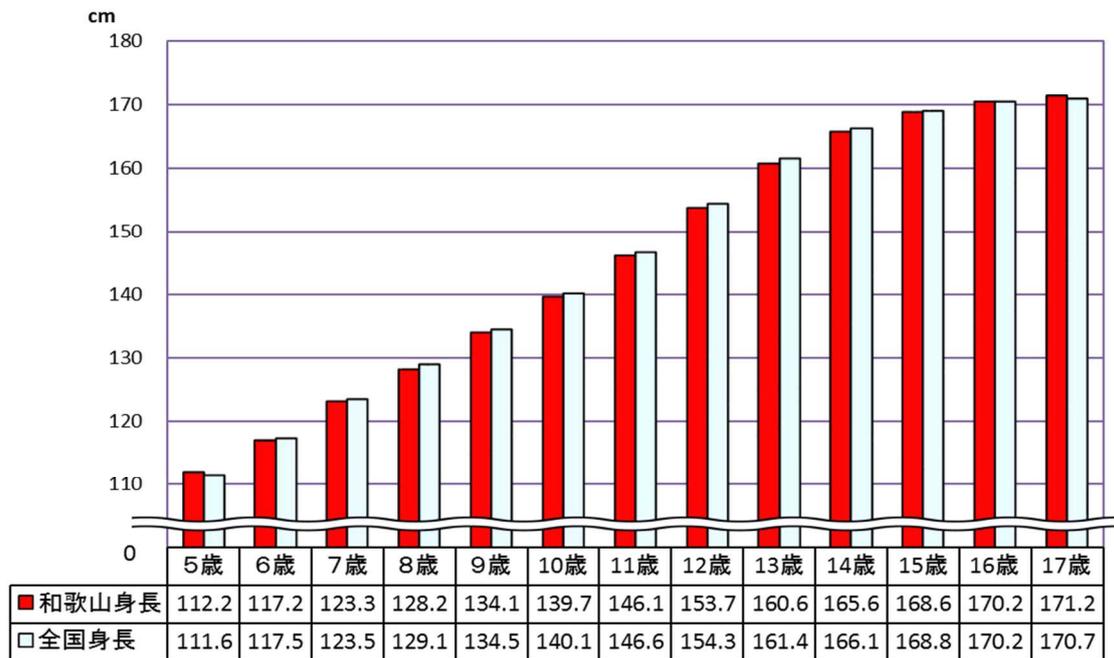


図 1-2 年齢別身長の全国との比較（女子）

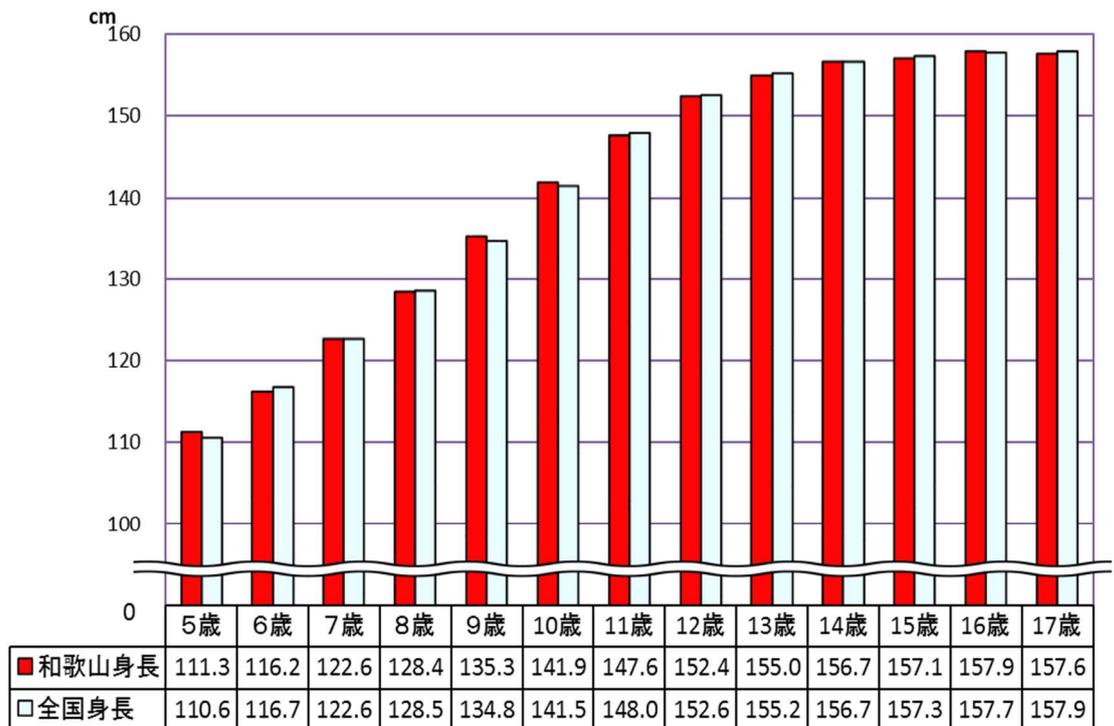


図 1-3 年齢別体重の全国との比較（男子）

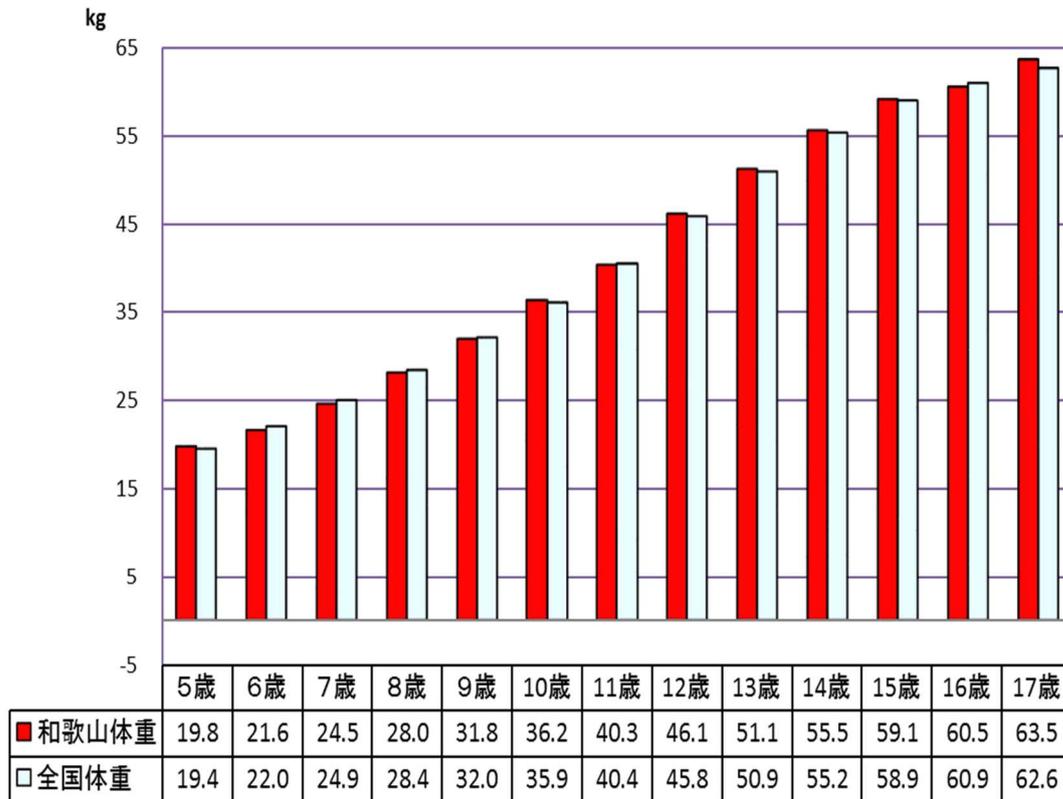
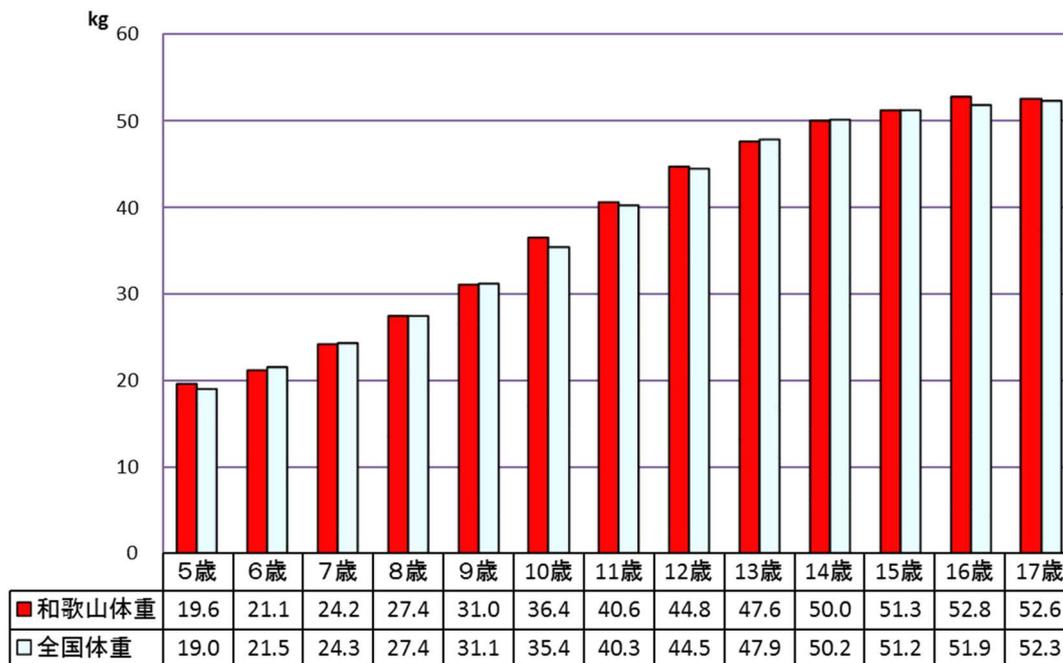


図 1-4 年齢別体重の全国との比較（女子）



2 平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の者の年間発育量 … 表2、図2-1、図2-2

(1) 身長

平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の年間発育量をみると、男子では12歳から13歳時に発育量が著しくなっており、12歳時に最大の発育量を示しています。

女子では、10歳から11歳時に発育量が著しくなっており、10歳時に最大の発育量を示しています。

(2) 体重

平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の年間発育量をみると、男子では、11歳から12歳時に発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示しています。

女子では、10歳から11歳時に最大の発育量が著しくなっており、10歳時に最大の発育量を示しています。

※なお、令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできません。

表2 平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の者の年間発育量

区分		身長(cm)				体重(kg)			
		男子		女子		男子		女子	
		和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国
総発育量		60.6	59.9	48.1	48.1	44.6	43.5	34.2	33.7
幼稚園	5歳時	5.7	5.9	6.3	6.0	2.4	2.4	2.7	2.4
小学校	6歳時	6.2	5.8	6.2	5.9	2.6	2.5	2.8	2.5
	7歳時	5.1	5.7	5.6	5.7	2.5	3.0	2.7	2.9
	8歳時	5.9	5.4	6.0	6.0	4.0	3.5	3.7	3.5
	9歳時	5.5	5.4	6.2	6.7	3.4	3.8	3.6	4.1
	10歳時	5.9	6.1	6.9	6.7	4.6	4.1	5.6	5.0
中学校	11歳時	7.1	7.5	4.8	5.0	5.4	5.5	3.9	4.6
	12歳時	7.7	7.3	3.5	3.0	5.1	4.9	4.0	3.6
	13歳時	5.5	5.4	1.6	1.7	4.9	5.1	2.7	2.8
高等学校	14歳時	2.9	3.1	0.0	0.6	5.0	4.7	1.8	1.6
	15歳時	1.6	1.5	0.9	0.6	2.6	2.1	1.4	1.1
	16歳時	1.5	0.8	0.1	0.2	2.1	1.9	-0.7	-0.4

※年間発育量とは、例えば、平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の「5歳時」の年間発育量は、平成21年度調査6歳の者の身長から平成20年度調査5歳の者の身長を引いた数値です。

※表の網掛け部分は、5～16歳時のうち最大の年間発育量を示しています。

図2-1 平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の者の年間発育量（身長）

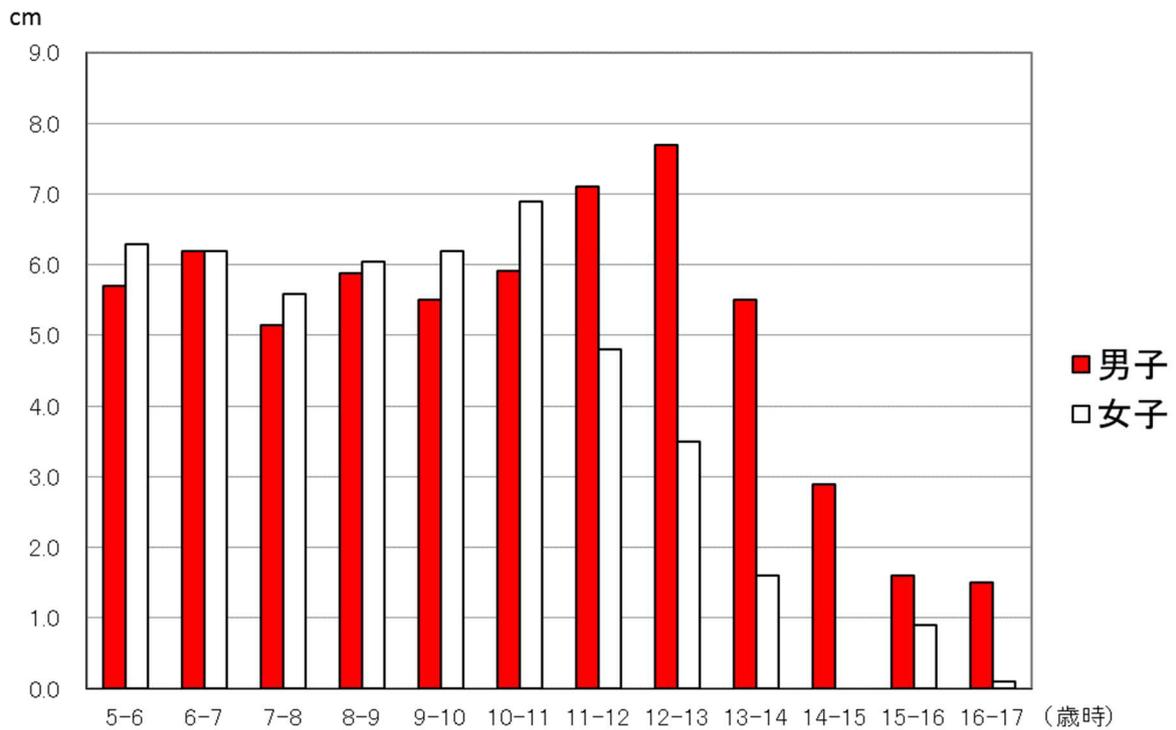
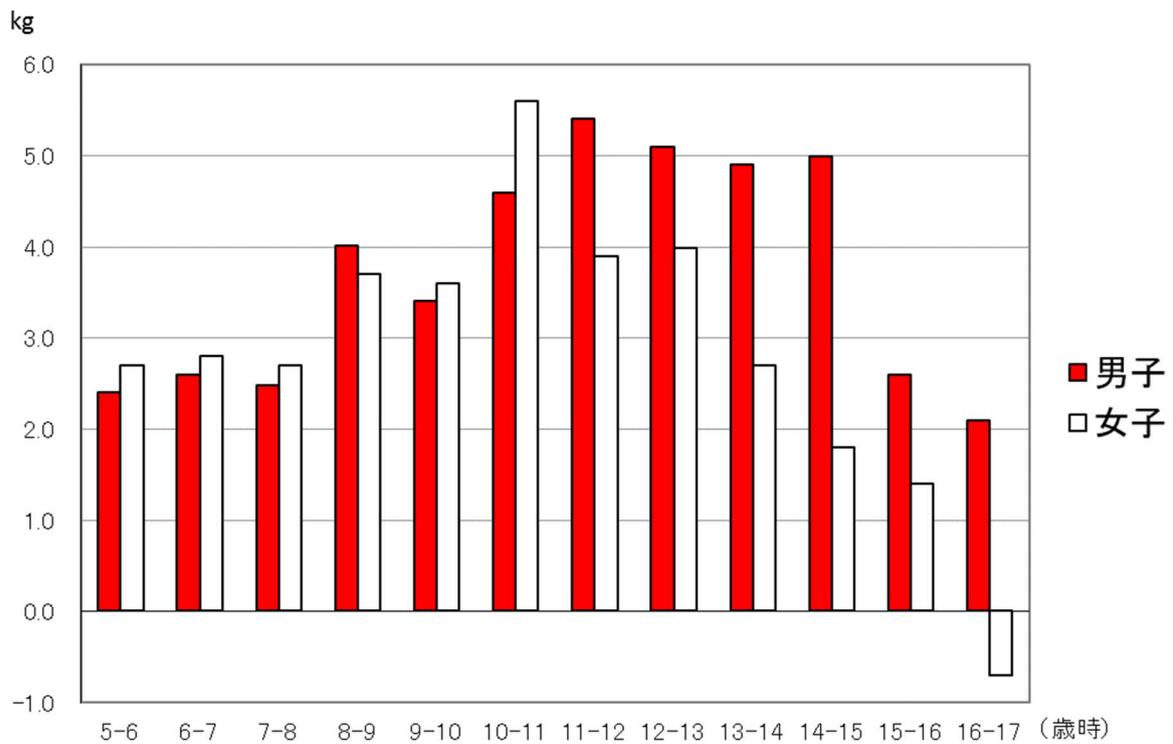


図2-2 平成14年度生まれ（令和2年度17歳）の者の年間発育量（体重）



3 親の世代（30年前の平成2年度の数值）との比較 … 表3、図3-1, 3-2

(1) 身長

和歌山県の令和2年度の身長を親の世代（30年前の平成2年度の数值）と比較すると、男子では、すべての年齢で30年前の平均身長を上回っており、最も差が大きいのは12歳で2.2cm高くなっています。

女子では、15歳及び17歳を除くすべての年齢で30年前の平均身長を上回っており、最も差が大きいのは10歳で2.7cm高くなっています。

(2) 体重

和歌山県の令和2年度の体重を親の世代と比較すると、男子では、15歳を除くすべての年齢で30年前の平均体重を上回っており、最も差が大きいのは12歳で1.9kg重くなっています。

女子では、15歳、16歳及び17歳を除くすべての年齢で30年前の平均体重を上回っており、最も差が大きいのは10歳で2.9kg重くなっています。

※なお、令和2年度の数值については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数值と単純な比較はできません。

表3 親の世代である30年前（平成2年度調査）との比較

区分		男子			女子		
		令和2年度	平成2年度	差	令和2年度	平成2年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	112.2	111.0	1.2	111.3	110.0	1.3
	6歳	117.2	116.4	0.8	116.2	115.9	0.3
小学校	7歳	123.3	122.4	0.9	122.6	121.8	0.8
	8歳	128.2	127.7	0.5	128.4	127.2	1.2
	9歳	134.1	133.0	1.1	135.3	133.3	2.0
	10歳	139.7	138.6	1.1	141.9	139.2	2.7
	11歳	146.1	144.1	2.0	147.6	146.8	0.8
中学校	12歳	153.7	151.5	2.2	152.4	151.6	0.8
	13歳	160.6	159.3	1.3	155.0	154.8	0.2
	14歳	165.6	164.6	1.0	156.7	156.3	0.4
高等学校	15歳	168.6	168.5	0.1	157.1	157.5	△ 0.4
	16歳	170.2	169.8	0.4	157.9	157.8	0.1
	17歳	171.2	170.8	0.4	157.6	158.1	△ 0.5

(単位:cm)

区分		男子			女子		
		令和2年度	平成2年度	差	令和2年度	平成2年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	19.8	19.3	0.5	19.6	18.9	0.7
	6歳	21.6	21.2	0.4	21.1	20.9	0.2
小学校	7歳	24.5	24.0	0.5	24.2	23.6	0.6
	8歳	28.0	26.9	1.1	27.4	26.5	0.9
	9歳	31.8	30.0	1.8	31.0	30.0	1.0
	10歳	36.2	34.5	1.7	36.4	33.5	2.9
	11歳	40.3	38.5	1.8	40.6	40.1	0.5
中学校	12歳	46.1	44.2	1.9	44.8	44.0	0.8
	13歳	51.1	49.5	1.6	47.6	47.4	0.2
	14歳	55.5	54.2	1.3	50.0	49.9	0.1
高等学校	15歳	59.1	59.6	△ 0.5	51.3	51.8	△ 0.5
	16歳	60.5	60.3	0.2	52.8	52.9	△ 0.1
	17歳	63.5	61.9	1.6	52.6	52.7	△ 0.1

(単位:kg)

図3-1 親の世代である30年前（平成2年度調査）との比較（男子）

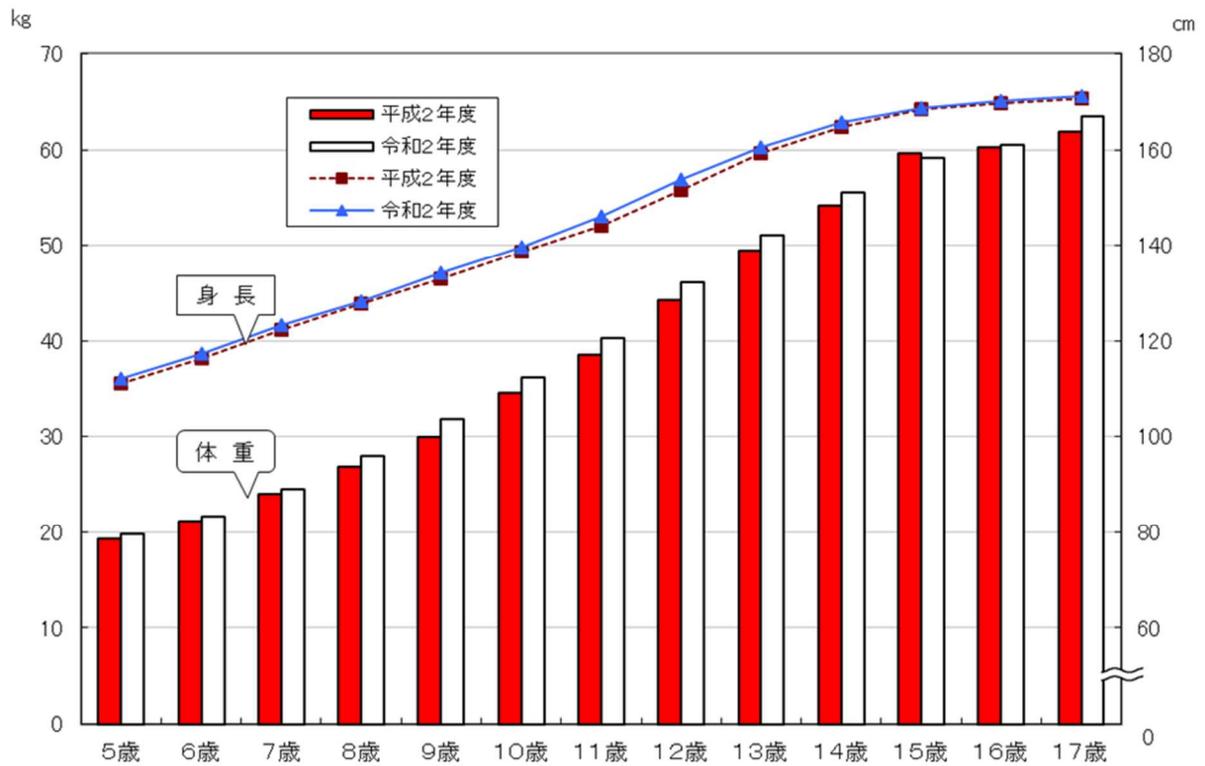
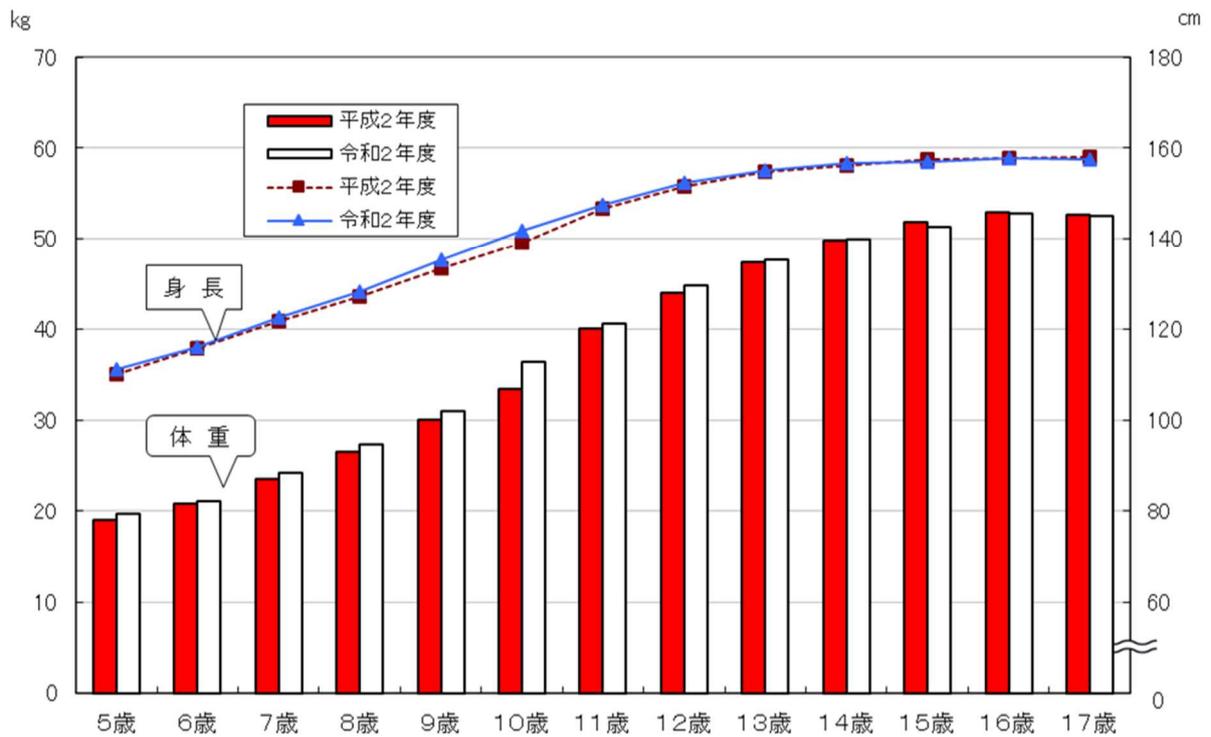


図3-2 親の世代である30年前（平成2年度調査）との比較（女子）



4 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率 … 表4、図4-1、4-2

(1) 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、男子では、5歳、6歳、7歳を除くすべての年齢で10%を超えており、10歳で17.23%と最も高くなっています。また、7歳及び16歳を除くすべての年齢で全国値を上回っています。

女子では、10歳及び11歳の各年齢で10%を超えており、10歳の12.84%が最も高くなっています。また、7歳、9歳、12歳、13歳及び14歳を除くすべての年齢で全国値を上回っています。

(2) 痩身傾向児

痩身傾向児の出現率は、男子では、7歳及び8歳を除く各年齢で1%を超えており、15歳で6.00%と最も高くなっています。また、6歳、11歳、15歳及び16歳で全国値を上回っています。

女子では、6歳を除く各年齢で1%を超えており、15歳が4.02%と最も高くなっています。また、6歳、7歳、8歳、9歳、13歳及び15歳の各年齢で全国値を上回っています。

※なお、令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできません。

表4 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

区分		幼稚園			小学校				中学校			高等学校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
肥満傾向児	和歌山	4.25	5.65	6.57	11.50	10.68	15.11	12.11	11.65	10.44	9.53	11.84	10.05	11.59
	男	4.16	5.90	6.41	13.20	15.28	17.23	13.90	14.71	13.28	12.62	14.43	11.29	13.55
	女	4.34	5.39	6.74	9.85	5.94	12.84	10.25	8.46	7.50	6.27	9.05	8.77	9.56
	全国	3.51	5.51	8.03	10.31	11.50	11.91	11.38	10.84	10.40	9.64	9.72	9.09	10.08
	男	3.65	5.85	8.77	11.67	13.58	14.24	13.31	12.71	12.18	10.94	12.07	11.54	12.48
	女	3.37	5.16	7.25	8.89	9.32	9.47	9.36	8.89	8.53	8.29	7.30	6.59	7.63
痩身傾向児	和歌山	-	0.93	0.80	1.38	2.24	1.95	2.34	1.86	2.55	2.70	5.05	3.39	2.37
	男	-	1.17	0.36	0.67	1.75	1.88	3.48	1.94	1.76	2.83	6.00	5.14	2.58
	女	-	0.68	1.25	2.08	2.74	2.02	1.15	1.76	3.37	2.56	4.02	1.60	2.16
	全国	0.44	0.52	0.64	1.03	2.08	2.76	3.16	4.00	3.09	3.02	3.69	3.66	3.20
	男	0.50	0.42	0.62	0.97	1.83	2.76	3.45	3.65	2.99	3.24	4.24	4.07	3.57
	女	0.38	0.63	0.65	1.09	2.35	2.76	2.87	4.37	3.20	2.79	3.13	3.24	2.82

※肥満・痩身傾向児については、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度（過体重度）を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としています。

肥満度（過体重度）

$$= [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重 (kg) = a × 実測身長 (cm) - b

係数	年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		男	a	0.386	0.461	0.513	0.592	0.687	0.752	0.782	0.783	0.815	0.832	0.766
	b	23.699	32.382	38.878	48.804	61.390	70.461	75.106	75.642	81.348	83.695	70.989	51.822	53.642
女	a	0.377	0.458	0.508	0.561	0.652	0.730	0.803	0.796	0.655	0.594	0.560	0.578	0.598
	b	22.750	32.079	38.367	45.006	56.992	68.091	78.846	76.934	54.234	43.264	37.002	39.057	42.339

出典：公益財団法人日本学校保健会『児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）』

図4-1 肥満傾向時の出現率

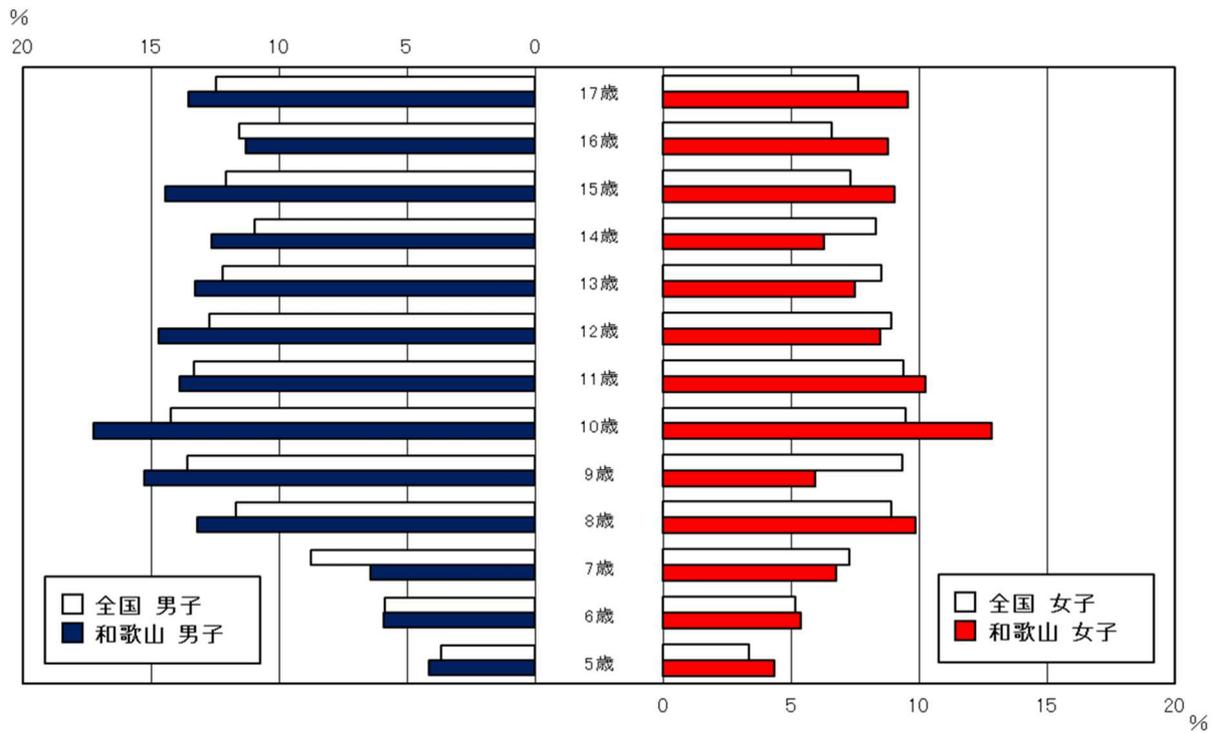
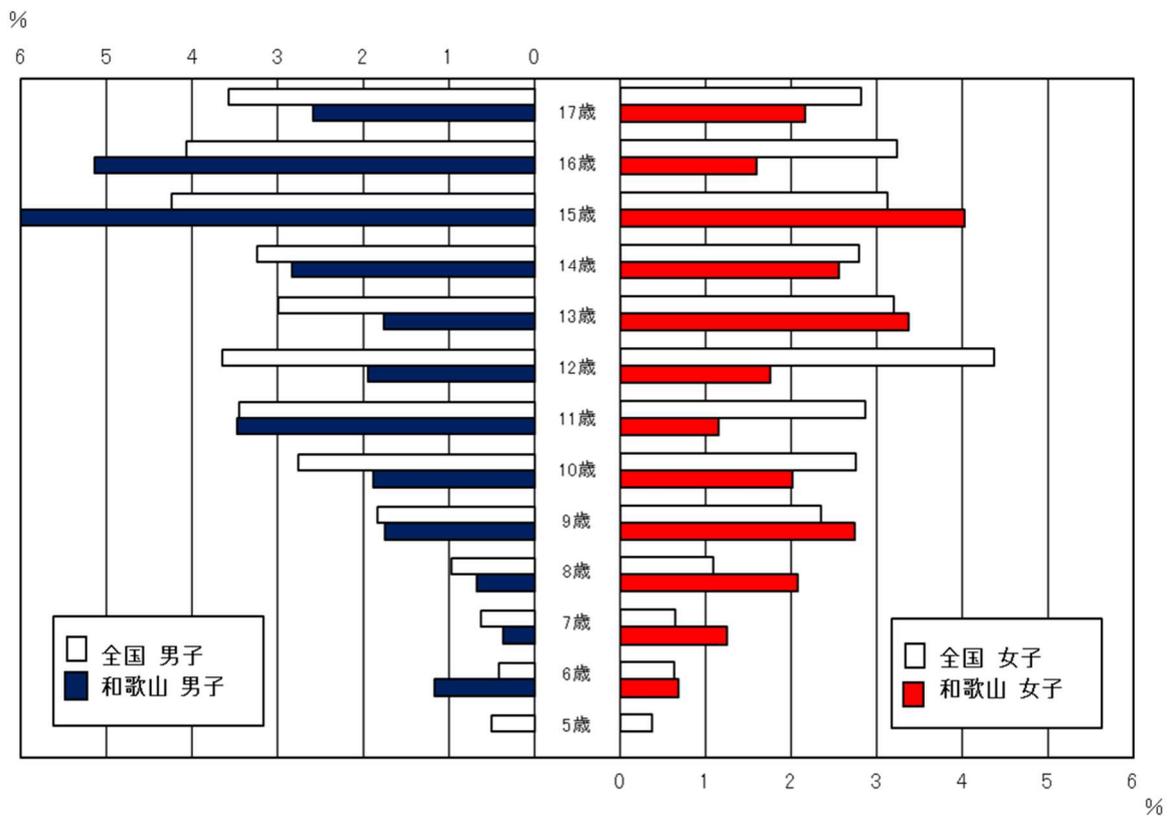


図4-2 痩身傾向時の出現率



健康状態

1 主な疾病・異常等の推移 … 表5

(1) 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校 32.2%、中学校 53.8%、高等学校 65.1%となっており、前年と比較すると、小学校で上回っています。

また、全国値と比較すると、高等学校で上回っています。

(2) 目の疾病・異常

目の疾病・異常の割合は、幼稚園 4.5%、小学校 7.2%、中学校 7.4%、高等学校 2.4%となっており、前年と比較すると、幼稚園で上回っています。

また、全国値と比較すると、幼稚園、小学校及び中学校で上回っています。

(3) 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園 0.3%、小学校 9.8%、中学校 8.4%、高等学校 0.5%となっており、前年と比較すると、小学校、中学校及び高等学校で下回っています。

また、全国値と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

(4) むし歯（う歯）

むし歯（う歯）の者の割合は、小学校 42.2%、中学校 34.2%、高等学校 45.0%となっており、前年と比較すると、小学校、中学校及び高等学校で下回っています。

また、全国値と比較すると、小学校、中学校及び高等学校で上回っています。

(5) アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園 1.9%、小学校 1.5%、中学校 1.2%、高等学校 0.5%となっており、前年と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

また、全国値と比較すると、小学校、中学校及び高等学校で下回っています。

(6) ぜん息

ぜん息の者の割合は、幼稚園 0.8%、小学校 1.2%、中学校 1.4%、高等学校 0.4%となっており、前年と比較すると、幼稚園と中学校で上回っております。

また、全国値と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

※なお、令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできません。

表5 主な疾病・異常等の推移

(単位:%)

区分		裸眼視力1.0未満		眼の疾病・異常		鼻・副鼻腔疾患		むし歯(う歯)		アトピー性皮膚炎		ぜん息	
		和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国
幼稚園	平成28年度	X	27.94	5.0	1.87	2.1	3.58	35.0	35.64	2.7	2.39	1.1	2.30
	29年度	X	24.48	2.6	1.60	5.1	2.86	36.3	35.45	2.9	2.09	0.6	1.80
	30年度	X	26.68	4.4	1.55	1.4	2.91	32.1	35.10	2.1	2.04	2.1	1.56
	令和元年度	X	26.06	1.7	1.92	0.3	3.21	27.3	31.16	2.1	2.31	0.7	1.83
	2年度	X	27.90	4.5	1.36	0.3	2.38	X	30.34	1.9	1.90	0.8	1.64
小学校	平成28年度	29.4	31.46	8.9	5.38	14.0	12.91	52.9	48.89	2.0	3.18	3.0	3.69
	29年度	28.4	32.46	10.5	5.68	12.6	12.84	50.3	47.06	2.5	3.26	2.2	3.87
	30年度	31.0	34.10	10.7	5.70	16.4	13.04	49.7	45.30	2.2	3.40	1.8	3.51
	令和元年度	30.9	34.57	8.0	5.60	11.1	11.81	48.4	44.82	3.0	3.33	2.0	3.37
	2年度	32.2	37.52	7.2	4.78	9.8	11.02	42.2	40.21	1.5	3.18	1.2	3.31
中学校	平成28年度	51.3	54.63	6.3	5.12	10.7	11.52	34.9	37.49	1.6	2.65	1.0	2.90
	29年度	53.4	56.33	9.4	5.66	11.9	11.27	45.1	37.32	2.0	2.66	1.8	2.71
	30年度	52.4	56.04	6.8	4.87	11.3	10.99	35.7	35.41	1.5	2.85	1.1	2.71
	令和元年度	60.7	57.47	9.9	5.38	11.0	12.10	43.3	34.00	1.9	2.87	1.1	2.60
	2年度	53.8	58.29	7.4	4.66	8.4	10.21	34.2	32.16	1.2	2.86	1.4	2.59
高等学校	平成28年度	62.4	65.99	9.8	3.43	3.4	9.41	57.6	49.18	1.9	2.32	0.9	1.91
	29年度	68.1	62.30	5.3	3.54	1.8	8.61	55.8	47.30	1.6	2.27	1.6	1.91
	30年度	64.0	67.23	4.9	3.94	0.1	9.85	55.2	45.36	1.8	2.58	1.1	1.78
	令和元年度	65.4	67.64	3.3	3.69	1.3	9.92	49.2	43.68	0.9	2.44	0.4	1.79
	2年度	65.1	63.17	2.4	3.56	0.5	6.88	45.0	41.66	0.5	2.44	0.4	1.75

※「X」は、標本サイズが小さい等のため、統計数値を公表していません。